

シイタケ KS31

品種登録出願準備中

培養温度：20～23℃

発生温度：10～20℃

培養75日頃から発生操作が可能！

*積算温度目安：1,600～1,800℃

*初めての場合、「試しカット」をお薦めします。

発茸能力が高く、生産しやすい！

*過培養した場合、多発する可能性があります。

*2回目以降も発茸しやすい傾向があります。

発茸数やや多く中～大玉でパックにも適！

*発生個数によって大きさは異なります。

手もぎ作業も可能で、収穫効率アップ！

菌床が硬めで、長持ちしやすい！

*培地や栽培条件によって異なる場合があります。



*当社75日培養

■管理目安

大 鋸 屑	チップ：オガコ=8：2～5：5
栄 養 体	フスマ等（培地重量の約10%）、炭カル類（培地重量の1%）
培 養 温 度	20～24℃（好ましくは20～23℃）
発 生 温 度	10～20℃ 例) 15～17℃一定、12～20℃変温

- 樹種、その他の栽培条件により、培養期間が異なる場合があります。（初めて発生させる方は、試しカットすることをお薦めします。）
- 栽培袋は、通気性の高いものを使用することをお薦めします。
- 培養期間中は、暗黒下での管理は避けてください。（照射目安：2～8時間程度・10～100Lx程度）
- 休養期間中は、21～23℃で散水（確実に菌床内に加水）しながら約2週間管理して下さい。
- 発生処理は、注水又は浸水が可能です。